

三加和中学校

学び合いのススメ

—「わかる」授業を全員でつくる—

み 見通しを持つ



か 一人で考える



か 関わり合いながらみんなで解決



わ 「わかる」を目指す振り返り



三加和中学校

()年()号 氏名()

はじめに

今年度三加和中学校では、「みかわ」の学習に取り組んでいます。生徒の皆さんと先生たちとでイメージを共有して授業を一緒に作っていくためにこの『学び合いのススめ』を作成しました。

「学び合い」を大切に授業づくりを行います。全員が「教える側」「教わる側」になります。そのために、まずはその時間のめあて（課題）の達成に向けて自分自身がじっくりと考えて、「自分なりの」考えを持つことが大切です。そして、それをもとに友だちと学び合うことで、さらに自分の考えを深めたり、自分だけでは気づくことができないことに気づいたりすることができます。また、自分自身で学んだことを自分の言葉で他の人に伝える振り返りをするすることで、学びがさらに深まります。それぞれの授業のなかで「授業のどんな場面で」「どのような力を身に付けるために取り組むのか」「どのような場面でどのように（方法等）で学び合うのか」などについて確認をして、みんなで「わかる」を目指しましょう。

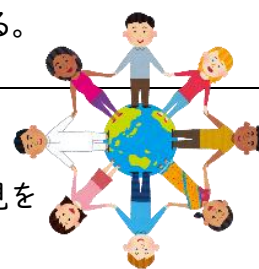
国語

| 身に付けたい「表現力」 | |
|--|---|
| ○叙述に基づき明確な根拠を持って主張や主題を読みとる。 ○根拠に基づき、論理的に文章を構成する。 ○自分の言葉で考えを伝える。 ○正しい言葉遣いを身に付ける。 | |
| 学び合いの ねらい | ○多面的な視点や考え方を共有し、思考の幅を広げる。 ○自他の考えについて客観的な視点を持てる。 |
| 学び合いの 方法 | ペア、少人数で考えを伝え合う。 ①自分の意見にないものなどを色分けして記録する。 ②1つ質問をしてみる。 ※個人思考→出し合う→やり直し→高める |
| 学び合いの ルール | ○他の人の考えを否定しない。 ○土台については授業開き等で共有する。 |



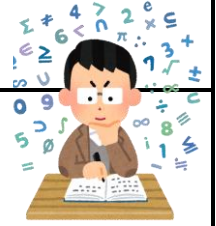
社会

| 身に付けたい「表現力」 | |
|--|---|
| ○身近なところで起こっている社会事象もふまえ、言葉を選んで「ひと言まとめ」を書くことができる。 ○イラストや図表、矢印や吹き出しなどを使って、自分の考えを表現できる。 | |
| 学び合いの ねらい | ①みんなが課題を達成できるように、互いに協力する。 ②いろいろな考え方にふれ、多様性に気づきそれを理解しようとする。 ③人に伝えることで自分の理解度に気付く。 |
| 学び合いの 方法 | ①終わった人は、まだ終わっていない人や困っている人のところに行き、考え方、書き方をアドバイスする。 ②「三人寄れば文殊の知恵」の感覚で、それぞれが自分なりの意見を出し、考えを深める。 ③グループ発表で、自分に足りないところを見つける。 |
| 学び合いの ルール | ①1人学びをしっかりとる。(自分の意見をもつ) ②誰と組んでもいいように、日頃から誰とでも関わりを持っておく。 |



数 学

| 身に付けたい「表現力」 | |
|---|--|
| <p>○数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的、発展的に考察すること</p> <p>○数学的な表現を用いて事象を簡潔、明瞭、的確に表現すること</p> | |
| 学び合いのねらい | <p>○目的に応じた的確な数学的な表現を選択したり、一つの対象の幾つかの数学的な表現を相互に関連付けたりするため</p> <p>○問題解決の過程を振り返りながら、表現を自立的、協働的に修正、改善したり、議論の前提を明確にしたりしながら、問題の特徴や本質を捉えるため</p> |
| 学び合いの方法 | <p>○問題解決の過程で、グループ学習を設定し、お互いの考え方や解き方を自分の言葉で自由に話し合わせる時間を確保する。</p> <p>○グループの考えを全体の場で発表する時間を設定し、全員で考えを共有する。</p> |
| 学び合いのルール | <p>○自力解決の時間を確保し、個人の考えがしっかりと持てるようにする。</p> <p>○互いに認め合う雰囲気づくりに努める。</p> <p>○一人一人が互いに関心を持ち、困っている人がいないか気配りする。</p> |



理 科

| 身に付けたい「表現力」 | |
|---|--|
| <p>○実験や観察を通して、目的や状況に応じて、科学的な視点で表現できる力を身に付ける。</p> <p>○日常生活と結びつけて表現できる。</p> | |
| 学び合いのねらい | <p>①みんなが課題を達成できるように、みんなで協力する。</p> <p>②いろいろな人と交流することで、他者の考えを知り、多面的に考える。</p> <p>③人に伝えることで自分の考えを整理する。</p> |
| 学び合いの方法 | <p>①終わった人が困っている人のところに行き、考え方ややり方をアドバイス。</p> <p>②課題を考えるときには、意見を交流させて答えが同じでもいろいろな考え方があつたことを学ぶ。</p> <p>③グループ発表をする。</p> |
| 学び合いのルール | <p>①1人学びをしっかりとする。(自分の意見をもつ)</p> <p>②答えではなく、考え方や、やり方を教えてもらう。</p> |



英 語

| 身に付けたい「表現力」 | |
|---|---|
| <p>目的や場面、状況に応じて、相手のことに気を配りながら自分の意見や気持ちを伝えることができるようになってほしいと考えています。相手にも伝わる表現を使って、どのように伝えるか。また、様々な反応をしながらコミュニケーションを続けることができるような力を身に付けましょう。</p> | |
| 学び合いのねらい | <p>①みんなが課題を達成できるようにみんなで努力する。</p> <p>②友だちと活動をすることで、いろいろな人の表現を知ることができるようになる。</p> |
| 学び合いの方法 | <p>自己表現活動や練習をする場面で、次のように学び合います。</p> <p>①表現や問題、練習をするときなど、自分の課題が終わった生徒は、途中で困っている人のところに行き、考え方や表現する方法やアイデアのアドバイスを行う。</p> <p>②ペアやグループで一緒に活動した後は、必ず自分の表現を振り返り、さらに良くできないかを考える。</p> |
| 学び合いのルール | <p>○仲の良い人のところだけでなく、クラス全体のことを考えて行動する。</p> <p>○「どのようにしたらわかるようになるか」を考えながら教える。</p> <p>○学び合いの後には、自分の言葉で説明できるようにして、誰かに伝えるようにする。</p> |



音楽

| 身に付けたい「表現力」 | |
|--|--|
| 明確な発音を伴った確かな発声力を生かし、楽譜をもとに、豊かに歌唱できる技能を身につける。 | |
| 学び合いのねらい | <ul style="list-style-type: none"> ① 考えを共有することにより、表現方法に統一性を持たせる。 ② 複数で活動することにより、自分の考えや表現方法の幅を広げ、自己表現に対する客観性を身につける。 |
| 学び合いの方法 | <ul style="list-style-type: none"> ① どのように表現したいのかを確認する。 ② 表現する。 ③ 互いの気づきを確認する。 ④ ②・③を繰り返す |
| 学び合いのルール | 発声に音程を伴う、とてもメンタル的にデリケートな活動です。(支持的風土が不可欠) <ul style="list-style-type: none"> ① 他の考え・表現を受け止める。 ② 表現したいことを伝える努力をする。 ③ 失敗を恐れない。 |



美術

| 身に付けたい「表現力」 | |
|---|---|
| A 表現: 発想、構想をアイデアスケッチや作品のみならず言葉として説明できるようになる。 B 鑑賞: 感じたことや考えたことを言葉(文章)で整理し伝えることができるようになる。 | |
| 学び合いのねらい | <ul style="list-style-type: none"> ○自分にはない発想など、お互いの考えを尊重することが大前提。 ○良い所は褒めあい、小さな自信につなげる。 |
| 学び合いの方法 | 構想及び制作途中段階で 班 / 発想、構想、技法を説明、構想の実現に向けて情報交換と教えあい 全体/タブレット配信機能にて制作進捗や工夫点等の共有 |
| 学び合いのルール | <ul style="list-style-type: none"> ○お互いの考えや制作方法を尊重(褒め)し、更に工夫を加えるにはどうするかを共に考えていく。 ○他者のアイデアをそのまま活用せず、必ず自分なりの工夫を加える。 |



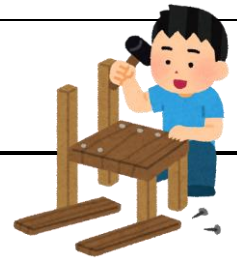
保健体育

| 身に付けたい「表現力」 | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○課題や学びに応じて、自分なりの解決方法や技のポイント、アドバイスを言葉、文字、画像などを使って説明する力 ○感覚的なポイント説明は、とらえ方が人によって異なるので、いろいろな人のアドバイス方法や言葉遣いが必要。自分の感覚を表現する力を身に付けていく。 | |
| 学び合いのねらい | <ul style="list-style-type: none"> ○いくつかの表現(アドバイス)の方法や、視点を知らせておく。 ○いつも同じ人がアドバイスをするのではなく、いつもアドバイスをされる側も、何かしらのアドバイスができるような手段を紹介しておく。 |
| 学び合いの方法 | 個人で考え、深めることももちろん大切であるが、ペアやグループ(チーム)での活動で学び合うことで、より学びが深まり、自分では気づけないところにも気づくことができる。そのため、どの単元でもペアやグループなどでの活動を実施し、必ずアドバイスをし合って終わるようにする。 |
| 学び合いのルール | <ul style="list-style-type: none"> ○日頃から誰とでも活動することができるような人間関係を作る。 ○グループ活動の際に友だちの意見やアドバイスを否定しない。 ○押さえるべきポイントを示します。そのポイントに即して伝えるようにする。 |



技術家庭

| 身に付けたい「表現力」 | |
|---|--|
| <p>○自分の考えや意見を伝えることができる。</p> <p>○自分の考えを図や形に表すことができる。</p> <p>(製図、アクティビティ図、プログラム、ソフトウェアの活用、作品)</p> | |
| 学び合いのねらい | <p>○自分の意見を整理して、深める。</p> <p>○わからないところを教え合う。(ヒントから考えを広げる)</p> <p>○いろいろな人の意見をもとに新しい考えを持つ。</p> |
| 学び合いの方法 | <p>①理解できた生徒が、困っている生徒へ教える。</p> <p>②自分の考えや意見を持った状態から、グループでの意見の交流につなげる。</p> |
| 学び合いのルール | <p>○必ず自分の考えを持つ。(わからない場合も含む)</p> <p>○誰かに説明(伝える)ができるようにする。</p> <p>○新しく考えたことをプラスする。</p> |



特別支援

| 身に付けたい「表現力」 | |
|--|---|
| <p>InputとOutput。表現するためには、その目的なり、課題なりがあり、それをまず取り入れて、さまざまな情報や知識をうまく活用して問題解決したり、説明したりする力。</p> | |
| 学び合いのねらい | <p>○人に伝えたり、説明したりすることで、自分の考えをしっかりと整理できる。</p> <p>○お互いの考えを伝え合うことで、新たな発見につながる。</p> |
| 学び合いの方法 | <p>○じっくりと1人学びをすること(させること)。このときにレベルに応じてヒントカードを利用する(させる)。何を活用したかが評価につながる。</p> <p>○課題や内容によって、2人、グループと形態を変える。</p> |
| 学び合いのルール | <p>○話し合い後、新たな発見や気づきを記すこと。</p> |



「みかわ」の学習

- み** 本時のめあて、取り組む課題(学習活動)解決するための見(み)通しを持つ
- か** 一人で考(かんが)えてみる、友だち同士で関(かか)わり合いながら、解決(かいけつ)を目指す
- わ** まとめ、振り返りを行い、「わかる」を目指す。



- ① 今日学んだことやわかったこと
- ② 感じたことや考えたこと
- ③ 気になったこと、疑問に思ったこと
- ④ 友だちから学んだこと
- ⑤ これからやってみたいこと



振り返りの視点



Go for it!

道徳・特活

| 身に付けたい「表現力」 | |
|--|---|
| <p>○よりよく生きるために、自分自身を見つめ、クラスメイトの思いや考えに触れながら様々な立場や視点から考えて自分の生き方について考える。その過程で考えたことを伝える。</p> <p>○集団の1人として、よりよいクラス(学校)を作るためにどのような言動が必要かを考える。その過程で、自分の考えを伝え、相手の思いを大切にする。</p> | |
| 学び合いのねらい | <p>○自分の考えを持ち、自分の気持ちを伝えること。</p> <p>○クラスメイトの考えを知ること、自分の考えをさらに深めるきっかけにする。</p> |
| 学び合いの方法 | <p>①自分の考えを持ち、まとめる。</p> <p>②自分の考えを友だちに伝える。</p> <p>③友だちの考えをしっかりと聞く。</p> <p>※ホワイトボード、ロイロノート、ワークシート</p> |
| 学び合いのルール | <p>○できるだけ多くの人と話をする。</p> <p>○まだ考えている途中でも、その時点で自分の思っていることを伝える。</p> |



総合的な学習の時間(起業体験学習)

